

高等学校 令和5年度（1学年用）

教科 地理歴史

科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組：伊藤） （2組：佐々木） （3組：佐々木） （4組：伊藤） （5組：佐々木） （6組：佐々木） （7組：佐々木）

使用教科書：（東京書籍『地理総合』『新高等地図』）

使用教材：（スマートスクール端末・プリント・Classi）

科目の目標

- 【知識及び技能】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や地域、地球的課題への取り組みなどを理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境などに着目して、多面的・多角的に考察して伝えることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を多面的・多角的な考察に追究し、自分事として解決しようとする。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や地域、地球的課題への取り組みなどを理解する。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境などに着目して、多面的・多角的に考察して伝えることができる。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を多面的・多角的な考察に追究し、自分事として解決しようとする。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
確認テスト 50% 授業内の発表や小テスト 50%	確認テスト 50% 提出物の内容 30% 発表等 20%	学習に取り組む状況 ・ふりかえりの状況 100%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)							配当時間	評価	
								1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組			
1 学期	4	○様々な地図の種類を学ぶことで世界について興味をもち、世界の国々に関心を持つ	・地球儀と世界地図【丸い地球を、平な紙に正しく書けるだろうか】	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									6	
	5	○時差を求めることができる。 ○緯度の違いと季節の違いについて学び、球体である地球に関心を持つ ○経度の違いによる時差について学び、世界観を学ぶ	・緯度・経度・時差【24時間、地球は眠らない。】 ・時差を求める	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									6	
	6	○日本の位置と領域について理解する。 ○排他的経済水域について理解し、その重要性について考える。 ○日本の都道府県について調べ、その特色を理解する ○インターネットを用いた調べ学習を通して、ネットリテラシーを身につける ○パワーポイントを利用して発表をすることで、ICT活用力と表現力を身につける	・日本の位置と領域・海洋国家としての日本【小さな島が、大きな意味をもつのはなぜ?】 ☆プレゼン課題【日本の都道府県を調べよう】		○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									6	
	7	○私たちの生活にさまざまな地図が利用されていることを理解する。 ○主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けのかを考察する。 ○交通手段の発達による生活の変化をメリットやデメリットの視点から考察する。	・地図の種類【このテーマ、どんな地図で表すべきか】 ・主題図の種類と読み取り【地図の可能性はまだまだ広がる】	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									8	
2 学期	9	○世界の貿易とさまざまな地域経済圏について理解する。 ○国際分業と産業の変化について考察する。 ○国家間のさまざまな結びつきとその役割について理解する。 ○多極化する世界の変化について考察する。	・交通の発達【地球は、どんどん小さくなっている?】 ・拡大する貿易【国どうしの貿易は、どう変化しているか】	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									6	
	10	○ケッペンの気候区分を学び、世界の特色ある気候を考察する	・つながる世界、多極化する世界【国どうしの結びつきで、世界はどこに向かう?】 ・多様な気候とその分布【なぜこれほど違う?暑さ、寒さ、雨の量】	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									8	
	11	○熱帯気候の特色を学び、そこに生活する人々の特色を知る ○乾燥気候の特色を学び、そこに生活する人々の特色ある生活様式を考察する ○温帯気候の特色を学び、そこに生活する人々の特色ある農業形態を考察する	・熱帯の人々の暮らし【強い日差しと激しい雨。人々の暮らしと農業は?】 ・乾燥帯の人々の暮らし【雨が少ない!どうやって水を得る?】 ・温帯の人々の暮らし【クーラー不要の地域から、ストーブ不要の地域まで】	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									6	
	12	○亜寒帯・寒帯の気候を学び、そこに生活する人々の特色ある生活様式を考察する ○世界の国について調べ、これまでの学習内容と関連させてその特色をとらえる ○インターネットを用いた調べ学習を通して、ネットリテラシーを身につける ○パワーポイントを利用して発表をすることで、ICT活用力と表現力を身につける	・亜寒帯・寒帯の人々の暮らし【長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは】 ☆プレゼン課題【世界旅行プランを考えよう】		○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									6	
3 学期	1	○環境問題の発生が、人間の活動によって引き起こされていることを理解する。 ○生産・消費活動により環境問題が発生することを理解し、解決に向けた取り組みを考察する。	・地球環境問題(1)【大気と海に、何が起きているのだろうか】 ・地球環境問題(2)【森林減少と砂漠化、その原因を探る】	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									8	
	2	○エネルギー資源の種類について理解する。 ○環境問題の学習を通じて、今自分にできることを考えることで、学習事項を自分事としてとらえる力を身につける ○再生可能エネルギーへの関心が高まった背景を理解し、再生可能エネルギーの割合が拡大しない要因を考察する。 ○18世紀後半以降から現在にかけての世界の人口推移とその背景を理解する。	・化石燃料から再生可能エネルギーへ【地球を「電池切れ」にさせないために】 ☆プレゼン課題【モアイタムク〜地球のために、今何ができるだろうか】 ・発展途上国の人口問題【人が増えたのはなぜ?何が問題なのだろうか】		○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									6	
	3	○先進国において少子高齢化が進む背景とその影響について理解する。 ○ヨーロッパで起こった難民危機を手がかりに、難民と民族問題について理解する ○難民が発生する原因や、民族問題の背景について考える	・先進国の人口問題【若者が減り、高齢者が増えるとどうなる?】 ・民族問題・難民問題【くり返す対立で、国を追われる人がいる】	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									6	

教科・科目・講座等	地理歴史科・日本史A	3単位	3学年(必修)
教科書・副教材等	高等学校 改訂版 日本史A(第一学習社) 改訂版 日本史Aノート(第一学習社)	教科担当	山下、西田

学習の到達目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
---------	--

学期	月	学習内容	進捗状況						アキルスタンダード	評価	学習のねらい	評価の観点	配当時間
			1組	2組	3組	4組	5組	6組					
1学期	4	・時代区分と世紀 ・江戸時代以前の歴史  《第2部第1章》 第1節 近代への胎動							・オリエンテーション ・旧石器～平成までの順序(流れ)を理解する。 ・古代～安土桃山時代までの大まかな歴史の流れを理解する。  ① 近現代学習の導入として、江戸時代の対外関係と、開国を迎えるまでの日本の状況を説明できる。 ② 江戸後期の幕藩体制の動揺と諸藩の改革について説明できる。		・時期区分・文化名とその順序、世紀による年代表記法を理解させる。 ・近世より前の歴史を理解させる。 ・開国に至る経緯と幕府の対応、開国以後の情勢について、幕府が崩壊した一連の流れを理解させる。 ・明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解させる。	I 関心・意欲・態度 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての役割を果たそうとする。	27
	5	第2節 開国と幕末の動乱						① 開国に至る経緯と幕府の対応について理解する。 ② 尊王攘夷運動を唱える志士たちの存在が、どのような影響を与えたかを理解する。 ③ 薩長同盟に至るまでの両藩の立場と考え方の変遷を理解する。 ④ 大政奉還と王政復古を通して江戸時代から明治維新の流れについて理解する。					
	6	第3節 近代国家の形成						① 東京奠都が人々に与えた影響について理解する。 ② 徴兵令制定の過程と徴兵による軍隊の性格を説明できる。 ③ 新政府が目指したものを富国強兵のスローガンから考察する。 ④ 文明開化の風俗の中に、現在との関連性を見出すことができる。 ⑤ 初期の外交政策について考察し、この時期に国際的に確定した日本の領土について理解する。					
	7	第3節 近代国家の形成						⑥ 自由民権運動の展開と、農民や士族が何を不満に感じていたのかを考察する。 ⑦ 自由民権運動の展開と、国会開設に至る過程を理解する。 ⑧ 明治維新における地租改正の位置づけについて理解する。 ⑨ 大日本帝国憲法の制定過程と、その内容について理解する。 ⑩ 初期議会の展開と課題について、説明できる。					
2学期	9	第4節 国際関係の推移と近代産業の発展						① 条約改正の過程を当時の国際・国内情勢の両面から考察する。 ② 日清戦争の経緯と結果について理解する。 ③ 日清戦争後の国内政治の動向について、政府と政党の関係性の中で理解する。 ④ 日露戦争の経緯と、戦争がもたらした影響について説明できる。 ⑤ 日露戦争の映像資料から近代戦争について、理解する。		・日清・日露戦争前後の対外関係の変化と社会問題の発生を理解させる。 ・民衆運動の広がりの盛り上がり、大正期における政党政治の展開について理解させる。第一次世界大戦が日本に与えた影響について理解させる。	II 思考・判断 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見だし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界的視野に立ち、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	40	
	10	第4節 国際関係の推移と近代産業の発展  《第2部第2章》 第1節 第一次世界大戦と日本						⑥ 日清・日露戦争を経て、日本がアジアに勢力を拡大していく過程を理解する。 ⑦ 日清・日露戦争期を経て日本では産業革命がおこり、資本主義が確立したことを理解する。資本主義の発展によって産業構造が変化し、これ以外にも、都市における貧民問題や労働問題など、さまざまな社会問題が発生したことを理解する。  ① 第一次護憲運動から、政治に与えた民衆の影響力を考察する。 ② 日本が第一次世界大戦に参戦した意図と理由を説明できる。 ③ 第一次世界大戦の映像資料から近代戦争について理解する。 ④ 第一次世界大戦が日本に与えた経済的な影響について理解する。		III 資料活用の技能 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、効果的に活用している。			
	11	《第2部第2章》 第1節 第一次世界大戦と日本						⑤ 朝鮮・中国における民衆運動の高まりについて理解する。 ⑥ 第一次世界大戦後の国際秩序と日本の地位の変化を説明できる。 ⑦ 普選運動の高揚に伴う第二次護憲運動と「憲政の常道」について、政党の動向も踏まえて理解する。 ⑧ 大正期の社会運動や女性解放運動について、時代背景と合わせて考察する。		IV 社会的事象についての知識・理解 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。			
		第2節 第二次世界大戦と日本						① 金融恐慌・昭和恐慌を、第一次大戦以後の経済不況の流れの中で理解する。 ② 中国統一の動きをとらえ、どのように日本の外交が行き詰まり、協調外交から強硬外交へ変化していったのかを考察する。 ③ 軍部の台頭について、日本の外交方針と当時の国際情勢との関連の中で説明できる。					
	12	第2節 第二次世界大戦と日本						④ なぜ日中戦争が始まったのかを、当時の国際情勢を踏まえて説明できる。 ⑤ 戦争による国民統制の事実について理解し、国民生活がどのように変化していったのかを考察する。 ⑥ 中国やアメリカとの関係の変化をとらえ、なぜアメリカと戦争になったのかを理解する。					
3学期	1	第2節 第二次世界大戦と日本						⑦ 太平洋戦争の展開について理解し、アジア・太平洋諸国にとって、太平洋戦争がどのような意味を持つものだったのかを考察する。 ⑧ 太平洋戦争末期の流れと、いかに戦争が終わったかを理解する。 ⑨ 第二次世界大戦の映像資料から戦争の悲惨さを理解する。 ⑩ 戦後日本の再出発を通して、戦前と戦後を比較し現代日本の成り立ちを考察する。		・日本の戦争に至る経緯を、国内的な軍部の台頭による政治状況の変化、経済の動向、国際関係の変化に着目して考察させる。	評価材料と配分 確認テスト 1/3 平常点 2/3  平常点は 授業態度、出席、 プリント等を総合して算出。	8	

※ 評価：A(十分に達成できた)、B(おおむね達成できた)、C(不十分であるが達成できた)、D(達成できなかった)

高等学校 令和5年度（2学年用）

教科 地理歴史

科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1 組：田辺） （2 組：伊藤） （3 組：田辺） （4 組：田辺） （5 組：伊藤） （6 組：伊藤） （7 組：田辺）

使用教科書：（清水書院『私たちの歴史総合』『私たちの歴史総合 教科書準拠ワークノート』）

使用教材：（スマートスクール端末・プリント・Classi）

科目の目標

- 【知識及び技能】 歴史に関わる諸事象に関して、日本を含む世界各国のこれまでのあゆみと相互の影響、現代世界との関連などを理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 歴史に関わる事象の意味や意義、国どうしの特色や相互の関連を、位置や分布、歴史的背景などに着目して、多面的・多角的に考察して伝えることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を多面的・多角的な考察に追究し、自分事として解決しようとする。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
歴史に関わる諸事象に関して、日本を含む世界各国のこれまでのあゆみと相互の影響、現代世界との関連などを理解する。	歴史に関わる事象の意味や意義、国どうしの特色や相互の関連を、位置や分布、歴史的背景などに着目して、多面的・多角的に考察して伝えることができる。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を多面的・多角的な考察に追究し、自分事として解決しようとする。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
確認テスト 50% 授業内の発表や小テスト 50%	確認テスト 50% 提出物の内容 30% 発表等 20%	学習に取り組む状況 ・ふりかえりの状況 100%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)							配当時間	評価
								1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組		
1 学期	4	歴史的な見方・考え方を活用しながら、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。	・世紀と年号・元号 ・近世の日本と世界 ・日本の開国とその影響 ・18世紀の中国とアジア貿易	○		○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況									6
	5	産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。	・18世紀のイギリスとアジア・アフリカ ・産業革命による経済発展と社会の変化 ・世界市場の形成とイギリスによるアジア進出 ☆調べてパワポ！① ・二つの市民革命と近代民主主義社会の成立			○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								6
	6	歴史的な見方・考え方を活用しながら、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	・国民統合とナショナリズム ・明治維新期の日本と世界 ・近代国家への移行と憲法の制定	○		○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								6
	7	○帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ○端末を活用し、1学期のまとめを行うことで、既習事項の整理を行う力と、表現力を身につける。	・列強による帝国主義 ・帝国主義がアジア・アフリカにもたらしたもの ☆1学期のまとめ			○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								8
2 学期	9	日清・日露戦争などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	・日清戦争とその影響 ・日露戦争 ☆調べてパワポ！② ・第一次世界大戦 ・社会主義体制	○		○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								6	
	10	○第一次世界大戦の性格と惨禍、社会主義革命の意味や影響、第一次世界大戦後の国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ○端末を活用し、2学期のまとめを行うことで、既習事項の整理を行う力と、表現力を身につける。	・国際協調体制 ・アジアの民族運動 ・大衆社会の形成 ☆調べてパワポ！③ ☆2学期のまとめ①			○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況							8	
	11	各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺や第二次世界大戦の勃発の背景に関する事柄を理解する。また、アジア太平洋戦争の展開を基に、第二次世界大戦の性格と惨禍を考察する。	・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・日本の大陸進出 ・第二次世界大戦 ・アジア太平洋戦争	○		○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況							6	
	12	○日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ○端末を活用し、2学期のまとめを行うことで、既習事項の整理を行う力と、表現力を身につける。	・戦後世界の新たな枠組み ・敗戦後の日本とアジア ・冷戦下の東アジア ☆調べてパワポ！④ ☆2学期のまとめ②			○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況							6	
3 学期	1	地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国 ・冷戦下の地域紛争 ・核兵器の脅威と核軍縮	○		○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況							8		
	2	冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。	・戦後の日本とアジア諸国との関係 ・高度経済成長 ☆調べてパワポ！⑤ ・石油危機と価値観の転換	○		○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況							6		
	3	○市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。 ○端末を活用し、1年間のまとめを行うことで、既習事項の整理を行う力と、表現力を身につける。	・アジアの成長 ☆一年間のまとめ			○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況						6		